

7.9 人と自然との触れ合いの活動の場

7.9.1 現況調査

(1) 文献その他の資料調査

1) 調査項目

調査項目は、湊崎公園の利用状況としました。

2) 調査手法

調査手法は、既存資料の収集・整理としました。

3) 調査地域・地点

調査地点は、湊崎公園としました。

4) 調査時期

調査時期は、最新の既存資料としました。

5) 調査結果

湊崎公園の利用状況に関する入手可能な資料はありませんでした。

(2) 現地調査

1) 調査項目

人と自然との触れ合いの活動の場の調査項目を表 7.9-1に示します。

人と自然との触れ合いの活動の場の調査は、湊崎公園における人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況を把握することを目的に実施しました。

表 7.9-1 人と自然との触れ合いの活動の場の調査項目

項目	調査項目
人と自然との触れ合いの活動の場	利用状況

2) 調査手法

人と自然との触れ合いの活動の場の現地調査に係る調査の手法を表 7.9-2に示します。

表 7.9-2 人と自然との触れ合いの活動の場の調査の手法

項目	調査項目	調査の手法
人と自然との触れ合いの活動の場	利用状況	現地踏査： 公園内を巡回し、写真撮影により利用環境の状況及び利用の状況を把握しました。 また、合わせて利用者への聞き取り調査を行い、利用者の属性、利用目的・頻度などを把握しました。

利用者への聞き取り調査は、公園内巡回の際に図 7.9-1に示す調査票を用いて実施しました。

アンケート内容
<利用者属性>
・性別 男性 女性
・年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代
・どこから来ましたか？ 広島市・府中町・その他
<利用目的・頻度>
・今日どのような目的で来ましたか？（複数回答可）
散歩 サイクリング スポーツ（_____） 公園遊び 写真撮影 草花の鑑賞 生き物の観察 ピクニック その他（_____）
・どのくらいの頻度で瀧崎公園を利用しますか？
今回が初めて 数年に1回程度 年に____回程度 月に____回程度 週に____回程度 ほぼ毎日 その他（_____）
・年に1回以上利用される方は、どのような時期によく利用しますか？（複数回答可）
春 夏 秋 冬 平日 週末 連休や休暇（夏休み等）のとき イベントが開催される時 帰省したとき その他（_____）
<その他>
・公園への来訪手段は何ですか？
自動車 二輪車 自転車 徒歩 その他（_____）
・「瀧崎公園」の魅力はなんですか？（複数回答可）
景色がよいこと アクセスがよいこと 施設が整っていること 緑が多いこと イベントが開催されること いろいろなレクリエーションが楽しめること スポーツをするのに適していること 生き物と触れ合えること 安全性が高いこと 静かで落ち着くこと その他（_____）

図 7.9-1 利用者への聞き取り調査票

3) 調査地域・地点

調査地点は、湊崎公園としました。

湊崎公園にはテニスコートやグラウンドのほか、子ども向け遊具や休憩施設が配置されており公園内の施設を巡回して、写真撮影により利用者及び利用状況の記録を実施しました。

人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点を図 7.9-2に、調査範囲を図 7.9-3に示します。



図 7.9-2 人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点

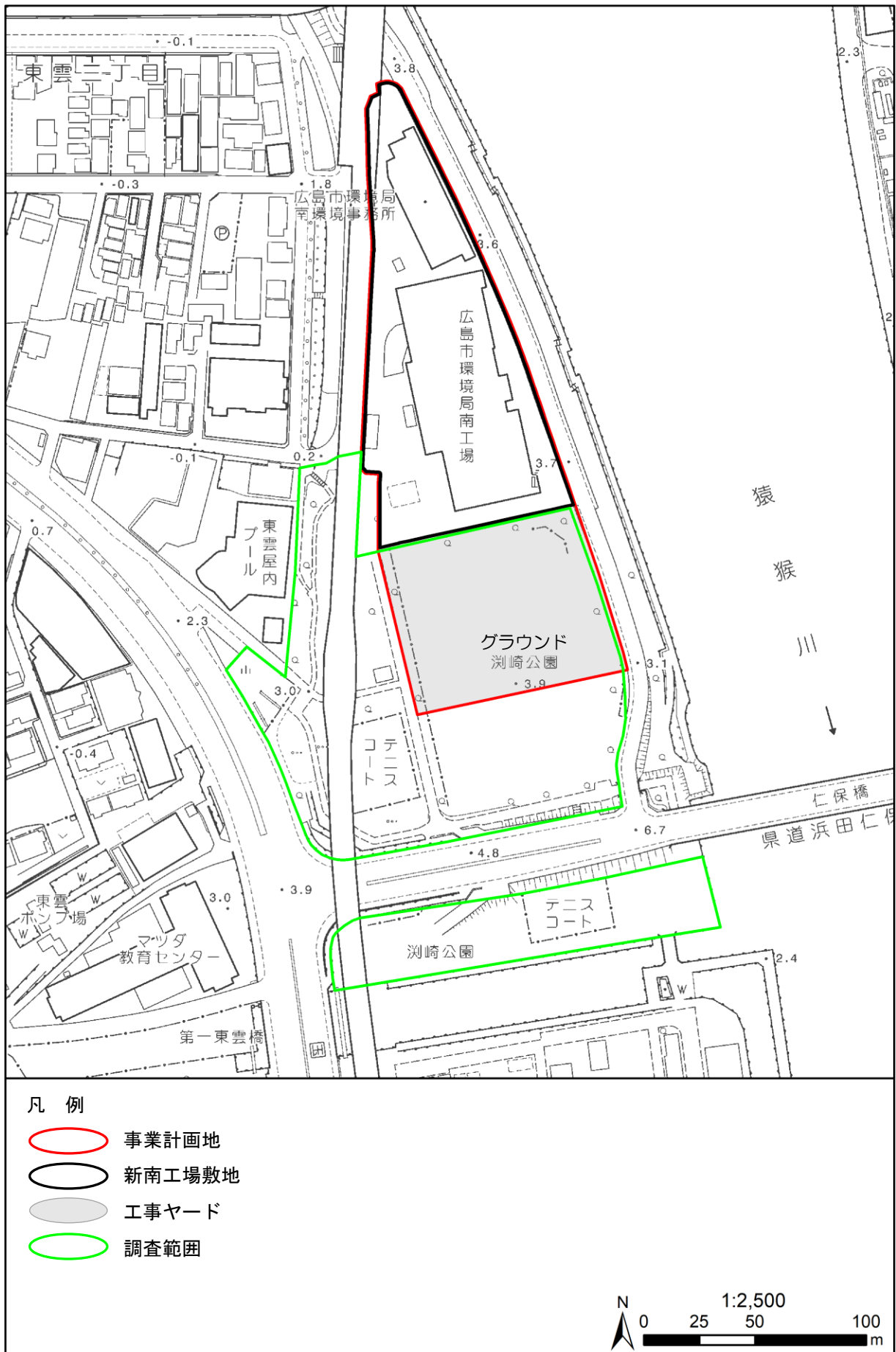


図 7.9-3 人と自然との触れ合いの活動の場調査範囲図（地点P1 洵崎公園）

4) 調査時期及び時間帯

人と自然との触れ合いの活動の場の調査時期を表 7.9-3に示します。

人と自然との触れ合いの活動の場の調査時期は、湊崎公園の利用が多いと想定される時期（秋季の行楽シーズン）の休日としました。

調査時間帯は、湊崎公園の配置施設（テニスコートやグラウンドのほか、子ども向け遊具や休憩施設）から、利用は日中が主体であること、また工事の実施に対する予測・評価を行う項目であることから、調査時間は8時～17時とし、午前、昼間、午後の3回巡回を行い、状況を把握しました。

表 7.9-3 人と自然との触れ合いの活動の場の調査時期

項目	調査時期
人と自然との触れ合いの活動の場	令和2年10月18日(日)

5) 調査結果

(a) 利用環境の状況及び利用の状況

浜崎公園の利用環境の状況は表 7.9-4、利用の状況は表 7.9-5に示すとおりです。

利用環境は、グラウンド、テニスコート、休憩施設、遊具、園路、広場、ベンチが確認されました。

現地調査時の利用状況としては、野球、テニス、遊具や広場での遊び、ウォーキング、ランニング、犬の散歩、休憩が確認されました。

また、グラウンドの利用状況について公園管理者への聞き取りにより、サッカー、野球、ソフトボール、グラウンド・ゴルフの利用が多いことを確認しました。

表 7.9-4(1) 浜崎公園の利用環境の状況

利用環境	状況写真
グラウンド	
テニスコート・北側	

表 7.9-4(2) 湊崎公園の利用環境の状況

利用環境	状況写真
<p>テニスコート・南側</p>	
<p>休憩施設</p>	
<p>遊具、園路</p>	

表 7.9-4(3) 渚崎公園の利用環境の状況

利用環境	状況写真
<p>遊具、広場</p>	
<p>遊具、広場</p>	
<p>遊具、ベンチ、広場</p>	

表 7.9-5(1) 澁崎公園の利用状況

利用状況	状況写真
<p>野球 (グラウンド、午前)</p>	
<p>野球 (グラウンド、昼間)</p>	
<p>テニス (テニスコート・北側、午前)</p>	

表 7.9-5(2) 澁崎公園の利用状況

利用状況	状況写真
<p>テニス (テニスコート・南側、午後)</p>	
<p>休憩 (休憩施設、午前)</p>	
<p>休憩 (ベンチ、午前)</p>	

表 7.9-5(3) 澁崎公園の利用状況


利用状況	状況写真
<p>遊び (遊具、午前)</p>	
<p>遊び (遊具、午前)</p>	
<p>遊び (遊具、昼間)</p>	

表 7.9-5(4) 澁崎公園の利用状況

利用状況	状況写真
<p>ランニング (園路、午後)</p>	
<p>ウォーキング (園路、午後)</p>	
<p>犬の散歩 (園路、午後)</p>	

表 7.9-5(5) 湊崎公園の利用状況

利用状況	状況写真
<p>遊び (広場、昼間)</p>	
<p>遊び (広場、昼間)</p>	
<p>遊び (広場、午後)</p>	

(b) 聞き取り調査結果

湊崎公園で実施した聞き取り調査結果は表 7.9-6に示すとおりです。

利用者の年代は30歳～40歳代が多く、ほとんどが広島市内からの来訪者で、利用目的はスポーツと公園遊びが多い結果となっています。

利用頻度は月2回と週1回が多く、利用時期は春から秋にかけての週末が多い結果となっています。

公園への来訪手段は自転車が最も多く、公園の魅力は「施設が整っている」「アクセスが良い」の回答が多い結果となっています。

表 7.9-6 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（聞き取り調査）

聞き取り項目	調査結果	
性別	・男性 : 16名	・女性 : 18名
年代	・10代 : 1名 ・20代 : 5名 ・30代 : 9名 ・40代 : 11名	・50代 : 0名 ・60代 : 2名 ・70代 : 4名 ・80代 : 2名
居住地	・広島市 : 33名 ・府中町 : 1名	・その他 : 0名
利用目的 (複数回答可)	・散歩 : 4名 ・スポーツ : 13名 ・公園遊び : 15名 ・その他 : 3名 (虫取り、子供の野球見学、犬の散歩)	
利用頻度	・今回が初めて : 1名 ・年に1回程度 : 1名 ・月に1回程度 : 6名 ・月に2回程度 : 7名 ・月に3回程度 : 1名 ・月に2～3回程度 : 1名	・週に1回程度 : 10名 ・週に2回程度 : 3名 ・週に2～3回程度 : 3名 ・ほぼ毎日 : 1名
利用時期 (複数回答可)	・春 : 33名 ・夏 : 26名 ・秋 : 33名 ・冬 : 17名	・平日 : 6名 ・週末 : 26名
来訪手段	・自動車 : 9名 ・二輪車 : 2名 ・自転車 : 14名 ・徒歩 : 9名	
湊崎公園の魅力 (複数回答可)	・景色が良い : 1名 ・アクセスが良い : 18名 ・安全性が高い : 12名 ・緑が多い : 7名 ・その他(広い) : 2名	・スポーツをするのに適している : 11名 ・色々なレクリエーションが楽しめる : 2名 ・施設が整っている : 23名 ・静かで落ち着く : 5名

7.9.2 予測・評価

工事の実施

(1) 建設機械の稼働に伴う人と自然との触れ合いの活動の場

1) 予測項目

予測項目は、建設機械の稼働による人と自然との触れ合い活動の場への影響の程度としました。

2) 予測地域・地点

予測地域は、事業計画地としてグラウンドの一部が使用される湊崎公園としました。

3) 予測時期

予測対象時期は、工事による影響が最大となる時期としました。

4) 予測手法

予測方法は、現地調査結果や工事計画を勘案した定性的な予測としました。

5) 予測結果

(a) 直接影響

工事の実施において、湊崎公園のグラウンドの一部を、図 7.9-4に示すように工事ヤードとして使用します。

グラウンドや設備（バックネット等）の一部が工事ヤードの範囲となり、触れ合い活動の場としての使用範囲が制限され、野球・サッカー等の利用形態に制限が生じることから、公園利用に影響が生じるものと予測します。ただし、工事完了後、工事ヤードは撤去され、再びグラウンドとして工事前と同等の利用ができるよう原状復旧する計画であり、影響は一時的です。

また、グラウンド以外の出入口や駐輪・駐車に利用されているスペースについては、工事ヤードに含まれず機能的に確保されるため、公園へのアクセスにおける影響はありません。



図 7.9-4(1) 湊崎公園グラウンドにおける工事ヤードの範囲図



©NTT空間情報株式会社

凡 例

- 事業計画地
- 新南工場敷地
- 工事ヤード
- 仮囲い

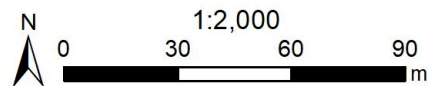


図 7.9-4(2) 渚崎公園グラウンドにおける工事ヤードの範囲図

(b) 間接影響

工事に伴う大気質（粉じん）、騒音、振動等が生じるものの、各規制基準等を満たすよう環境保全措置等を講じる計画であるため、影響は小さいものと予測します。

6) 環境保全措置

環境への影響を低減するため、以下の環境保全措置を実施します。

【環境保全措置】

- ・利用制限の時期や内容、周辺の利用可能な公園について事前に周知を図ることで、市民の公園利用の機会の確保に努めます。
- ・工事の実施段階で、工事ヤードを最小限の範囲とします。

7) 評価

工事の実施に伴う影響については、大気質（粉じん）、騒音、振動等が生じるものの、各規制基準等を満たすよう環境保全措置等を講じる計画であるため、影響は小さいものと予測します。また、グラウンドの一部が工事ヤードとして使用されることにより、公園利用に影響が生じるものと予測しますが、環境保全措置として利用制限の時期や内容、周辺の利用可能な公園について事前に周知し、市民の公園利用の機会の確保に努めることにより、環境への影響が実行可能な範囲でできる限り回避又は低減されているものと評価します。

また、工事の実施段階で、工事ヤードを最小限の範囲とすることにより、環境保全についての適正な配慮が図られていると評価します。